

## <児童・生徒指導部会 子ども未来プロジェクトチーム>

### 【児童生徒の実態】

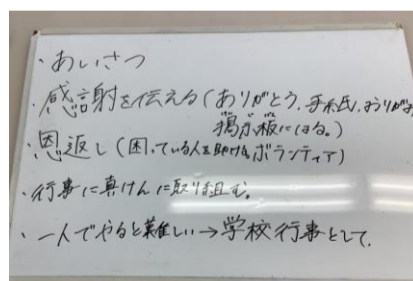
自らあいさつをすることのできる児童・生徒がいる。その反面、あいさつを返すことさえできない児童・生徒もいる。

### 【部会のねらい】

あいさつやコミュニケーションを基に、基本的な生活習慣を身に付けることができる。  
地域とのつながりを理解し、感謝を伝えることができる。

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	<B> 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中交流あいさつ運動</li> <li>・地域について考えるアンケートへの取組(それをもとに小中代表生徒での話し合い)</li> <li>・話し合い活動(R7テーマ:輪)</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動を通して先輩としての意識が高まった。またあいさつをしようとする児童・生徒が増えた。</li> <li>・小・中学生との交流で良い刺激を受けることができた。</li> <li>・地域について振り返ったり、考えたりすることができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動で中学生の人数が多いため、怖いと感じる児童がいた。配置を考えていく必要がある。</li> <li>・どの活動も期間を絞って行ったため、継続性が欠如した。</li> <li>・子どもたちが考えたテーマが明確でないため、やらされている感じがした。</li> </ul>



地域についての話し合い